

かけはし

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

題字 窪田優羅梨さん
(宇和特別支援学校高等部1年生)

特集

高校生と議会との意見交換会



特集

高校生 × 議会

宇和高校と野村高校の生徒の皆さんと、意見交換を行った。
これからの未来を担う高校生の様々な貴重なご意見をいただき活発な意見交換が行われた。
その後、各学校にて意見の集約をもらい、12月24日議場にて発表を行った。



■6回目となった意見交換会。今回は議員が2つに分かれて、宇和高校、野村高校の2校を訪問し意見交換をおこないました。

高校生も議員も少し慣れてきた様子でどちらの学校でもたくさんの意見を出してもらうことができたように思います。

市への要望だけではなく、様々なアイデアや提言、地域で行いたいことや、議員へ対しての質問等も多く出され、大変有意義な時間となりました。

■高校生の皆さんから頂いた貴重な意見、提言が活かせるよう私たち議員もしっかりと取り組みます。

今回も議場の雰囲気を感じてもらえるよう高校生議会を開催いたしました。

直接市長へ意見や要望等を行い、答弁がありました。これをきっかけに市政に興味を持ってもらい、自分たちの街のことを見直してみたり、ふるさとへの郷土愛をはぐくむ気持ちづくりになれば幸いです。

■私たち議員も、普段なかなか接点のない高校生のリアルな気持ちやお話を聞かせてもらい、改めて高校生目線のアイデアや意見を参考に様々な視点でよりよい街づくりをしていきたいと思えます。

なぜ議員になろうと思ったのか、議員の仕事は何をしているのか等の質問もあり、「議員」というものにも興味を持ってもらえたことにとても嬉しく、これからも興味を持ってもらえる市議会として活動していきます。



宇和高校

「みんなが来なくなる・住みなくなるまちづくり」

【事故〇で安心して暮らせるまちづくり】

■カーブミラーや街灯などを設置してほしい。

■視覚障がい者のために音の出る信号機を設置してほしい。

■朝の通学時間帯は交通量が多く危険を感じている。市と学校が連携した「交通ワークシヨップ」を開催できないか。

【西予の魅力を広げ、活性化のためにできること】

■れんげまつりなどのイベントに芸能人やお笑い芸人などと呼んでほしい。自分たちが司会などで一緒に盛り上げたい。また、地域の大きなイベントは、高校生にとって行きやすく、ボランティアとしても関わっている。なくさずに続けてほしい。

■市の魅力をTICKETやショート動画でもっと発信すべきではないか。

【その他】

■ゆるりあんは高校生にとって使いにくい

■子ども食堂に継続的な支援がほしい

■小児科を復活させてほしい

■堀田茜さんをアンバサダーに起用した理由は

などなどたくさんの質問・意見が出ました！

●年頭のごあいさつ

西予市議会議長 宇都宮 俊文

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、本市にとって極めて厳しい財政状況に直面し、「西予市財政危機脱却プラン」を発表するに至りました。市議会でも「西予市議会のあり方に関する特別委員会」「西予市の財政に関する特別委員会」を設置し、議会改革を進めております。議員一人ひとりが経営的視点をもって事業検証を行い、市政の効率化と信頼回復に努め、これまでに以上に政策提言できるようしっかりと議論していきます。

人口減少や産業の衰退など課題は山積していますが、一次産業を基幹とする本市には大きな可能性があると思っています。地域資源を活かし持続可能なまちづくりの提案を進めてまいります。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



野村高校

「野村高校発信の地域の魅力化」

【電動自転車の導入】

■野村を訪れる観光客の移動手段は、概ね車かバスである。町内を散策する際に電動自転車の貸出しがあれば観光しやすいのではないか。

【観光ガイド】

■西予市にはジオガイドや「語り部018のむら」のような専門分野のガイドはいるが、県外や外国人向けの観光ガイドはない。観光スポットを案内するのに必要ではないか。

【修学旅行の受け入れの推進】

■市内で増加している修学旅行の受け入れを推進し、西予市の魅力を実感、発信してもらう。また、本校で開園予定の動物園も、楽しんでもらえる場所の一つになるのではないかな。

【高校生が気楽に遊ぶ（集う）場所】

■児童館などの小学校世代が遊ぶスペースはあるが、高校生世代が集う場所が少ない。カラオケなど室内で集える場所がほしい。

【野村に温泉を】

■平成30年7月豪雨により、カポート温泉が閉業となった。温泉があれば乙亥大相撲や朝霧湖マラソンなどのイベントにも利用でき、参加者や観光客の増加が見込めるのでは。

令和7年 第4回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会 期 12月3日～12月19日

会議期間 17日間

西予市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例制定を賛成多数で可決

深刻な財政危機に直面する中、慢性的な赤字体質からの脱却を図るべく、西予市財政危機脱却プラン2025が策定され、急速に人口が減る中でも、ふるさとを守り抜くための挑戦として、財政危機脱却に向けたせいや変革宣言がなされました。既存の仕組みや考え方を根本から見直す姿勢が示されるこの変革においては、公共施設の再編による負担増、補助金や給付事業の見直しなど、市民の皆様に様々なご不便、ご負担をおかけします。

議会としても、反省を踏まえ、責任を持って共に困難を乗り越えるという決意の元、多角的に議会の自律的改革を進めて参りました。その結果を踏まえ、令和8年4月1日から令和10年5月15日までの間、議員報酬ならびに期末手当について10%減額します。

質疑がありました

議案第109号 西予市公共施設照明EＳＣＯ事業（ＬＥＤ化）委託契約について

質疑者 まつもと みき

議案第117号 西予市一般職の職員の給与の特例に関する条例制定について

質疑者 宇都宮 久見子

議案第118号 西予市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑者 まつもと みき

議案第119号 西予市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑者 宇都宮 久見子
大森 揚子
まつもと みき

議案第135号 西予市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について

質疑者 まつもと みき

議案第136号 西予市はり、きゅう及びマッサージ等施術費助成条例の一部を改正する条例制定について

質疑者 まつもと みき
二宮 一朗

議案第157号 西予市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例を廃止する条例制定について

質疑者 二宮 一朗

議案第165号 西予市宇和文化の里施設の指定管理者の指定についてから議案第173号 西予市獣肉処理加工施設の指定管理者の指定についてまで

質疑者 竹崎 幸仁

議案第169号 西予市みかめ本館の指定管理者の指定について

質疑者 山下 昌和

議案第174号 令和7年度西予市一般会計補正予算（第4号）

質疑者 まつもと みき

〈表決結果について〉

議案数が多いため残りの結果はHPでご確認ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



議案等議員別表決結果一覧表

西予市議会 令和 7 年第 4 回定例会

【会期:令和7年12月3日～12月19日】

※討論のあった議案の結果のみ掲載

番 号	件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	議決日	
		まつもとみき	大森 揚子	山下 昌和	宇都宮久見子	信宮 徹也	宇都宮俊文	加藤 美香	中村 一雅	河野 清一	山本 英明	竹崎 幸仁	小玉 忠重	源 正樹	井関 陽一	二宮 一朗	兵頭 学	森川 一義	酒井宇之吉			
議案第117号	西予市一般職の職員の給与の特例に関する条例制定について	×	×	×	○討	×	議長	×	×	×	×	○	×	×	○	○討	×	○	×	原案否決	12月19日	
議案第118号	西予市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	12月19日
議案第119号	西予市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第121号	西予市保健センター及び保健福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第123号	西予市図書交流館条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第124号	西予市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第125号	西予市城川総合運動公園条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第126号	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第127号	西予市営球場条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第128号	西予市運動公園条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第129号	西予市俵津文楽会館条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第130号	西予市乙亥の里条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第131号	西予市城川ふるさと交流館条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第132号	西予市ギャラリーしろかわ条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第133号	四国西予ジオミュージアムの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第134号	西予市火葬場設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第135号	西予市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第139号	西予市歴史民俗資料館及び郷土文化保存伝習施設条例の全部改正について	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第147号	西予市オイネ賞事業基金条例を廃止する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第148号	西予市田園口マンの里づくり基金条例を廃止する条例制定について	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日
議案第150号	西予市ジオパーク推進基金条例を廃止する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	原案可決	12月19日	
議案第156号	西予市宇和福祉センター条例を廃止する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日	
議案第174号	令和7年度西予市一般会計補正予算（第4号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日	
議案第180号	西予市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	12月19日	
議案第181号	西予市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	12月19日	
議案第182号	西予市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	原案可決	12月19日	
請願第3号	学校給食の無償化を求める請願	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	不採択	12月19日	

（○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権 討：討論がなされた議案）
※議長は表決権がありません。（可否同数の場合のみ表決権があります）

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

28件の議案と1件の請願を審査

Q 西予市一般職員の給与の減額により、職員のモチベーション低下および、職員採用試験への応募者数が減少するのではないかと

A 今回の改革プランの根底にあるのは、意識改革であり、職員一人ひとりの意識を変えていかなければならないことである。また、職場環境やICTの整備を行い、自分の能力を発揮したいという意欲のある若い人材を採用するための工夫を進め、応募者数の減少にならないように努める。

Q 中学校部活動を指導する市内のスポーツ協会等の加盟団体が社会体育施設を使用する場合は、今までのように全額免除措置が必要ではないかと

A 中学校の部活動を地域展開するに当たって、受け皿の候補となる団体の免除および減免については、今後検討する。

厚生常任委員会



16件の議案を審査

Q 通称「こども誰でも通園制度」の受け入れ体制は

A 一時預かりを実施している公立認定こども園（しろかわ保育所）1カ所と民間認定こども園1カ所の計2施設を予定している。

Q 「西予市はり、きゆう及びマツサージ等施設費助成条例の一部を改正する条例制定について」事業を継続しながら助成額を調整する手法はなかったのか

A 現在、市財政の健全化に向けて取り組んでいる。利用率が約40%と低下している現状や介護予防事業との整合性を踏まえ、再開に向けて持続可能な制度へ整えていく。

Q 過去に緊急消防援助隊等として、災害が発生した市町村に出動し、応急作業等手当の支給対象となった事例はあったか

A 東日本大震災、広島市の土砂災害の2案件について出動した事例がある。

請願第3号

「学校給食の無償化を求める請願」

不採択

令和6年第1回定例会において、「学校給食無償化の早期実現を求める意見書」を議会の総意として国に提出しており、現在、国においても無償化の動きなどの理由から、賛成なしにより、不採択とした。

Q 指定もやすごみ収集袋作製業務委託について、ごみ袋の作製枚数と単価は

A ごみ袋の枚数等は、大が72万枚、中が52万枚、小が32万枚、単価は、大が1枚当たり11円、中が8円、小が6円という価格を想定している。

Q 子育て応援事業の出産世帯奨学金返還支援事業や多子世帯リフォーム等支援事業は廃止を検討しているとのことであるが、申請が増えている現状を見ても重要性が高いのではないかと

A 申請数の増加は周知が十分に届いたものと認識している。本市は合計特殊出生率が県内で最も高く、3人目、4人目を出産される方も多い。今回のご意見を踏まえ、今後の制度設計における検討材料としていきたい。

所管事務調査

三瓶中学校校舎安全対策工事を視察

1976年に建築された校舎の劣化箇所安全対策工事現場を視察した。校舎の全面外壁赤外線調査結果で判明した箇所の修理は、契約金額1540万円（税込）、令和8年2月27日で終了とのことであった。安全対策工事も施工されているが、一日でも早く安心できる教育環境の提供に努められたい。



所管事務調査

野村保健福祉センターを視察

野村保健福祉センターは令和8年度より社会福祉協議会のみ利用となる。各種団体等の利用は、野村支所、野村地域づくり活動センターに引き継がれる予定である。現在週3回行われている体操教室は、これまでの利用料金にて社会福祉協議会に引き継がれる予定である。



産業建設常任委員会



29件の議案を審査

Q 「西予市ギャラリーしろかわ条例の一部を改正する条例制定について」

なぜ施設の休館日を規則で運用することになったのか
また、休館日を増やすことで経費削減をするより、開館日を増やして収入増を目指すべきではないか

A 規則での運用は、県内の同様の施設や市内のシルク博物館等との運用に準ずる変更である。

また、休館日については、週休二日制導入により経費を削減したうえで、施設の認知度向上や市内外からの利用促進に取り組み、収益増加を目指す考えであるが、週休二日制導入後に著しい収入減が確認された場合は、実績をもとに関係機関と協議したい。

Q 「西予市ジオパーク推進基金条例を廃止する条例制定について」

ジオパークの再認定を目指すのであれば、基金を残すべきではないか
基金残高が約496万円と少額になる見込みであり、地域振興基金に統合することで柔軟かつ総合的な活用が可能となることから、次回のジオパーク再認定に向けて鋭意取り組んでいきたい。

Q 「西予市有料駐車場条例を廃止する条例制定について」

住民の利便性や観光振興の観点から、駐車場の確保が必要ではないか
現時点で市営駐車場の新たな引き受け先は決まっておらず、条例廃止後は運営を終了する見込みである。
なお、観光振興の観点から観光客用駐車場の確保については検討を進めている。

Q 「西予市みかめ本館の指定管理者の指定について」

指定期間について、無償譲渡を前提とした協議期間としては理解できるが、水回りの補修などの課題を考慮すると1年は短いのではないかと

A 1年という期間は目標であり、協議の進捗に応じて検討していきたい。



野村シルク博物館（野村町）

令和7年第4回定例会 一般質問

7人の議員がこんな質問をしました

加藤 美香 議員

- (1) 地域づくり活動センターについて
- (2) 宇和地区の下水道事業について
- (3) 西予市における人材確保・育成について

兵頭 学 議員

- (1) 西予市財政危機脱却プラン 2025 について

酒井 宇之吉 議員

- (1) 職員について
- (2) 市政懇談会について

二宮 一郎 議員

- (1) 市政懇談会について
- (2) ふるさと納税について
- (3) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

まつもと みき 議員

- (1) 西予市財政危機脱却プラン 2025 について

大森 揚子 議員

- (1) 西予市民病院、野村診療所、つくし苑について
- (2) 「西予市財政危機脱却プラン 2025」について

源 正樹 議員

- (1) 人口減少に伴う働き手の確保について
- (2) 財政について

一般質問って何？



▼議員が市政の運営全般にわたって執行機関（市長や教育長等）に疑問点を質問し答弁を求めるもの。
▼西予市議会では質問方式は一問一答・分割一括を選択できる。
▼質問は通告書を出した順番で行われる。



議会YouTube配信について

9月議会から、議場の機材トラブルによって映像の録画ができなくなっています。
そのためYouTube配信ができておりません。
今後の議会の情報発信について、議員全員で取り組んでまいります。市民のみなさまの意見を寄せください！



※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

一般質問



加藤 美香
(フォーラムせいよ)

Q 宇和地区の公共下水道の整備済区域内人口と接続率は

A 令和7年9月30日時点の整備済区域内人口は8235人、接続人数は5760人、接続率は69・9%になっている。

Q 永長、神野久地区は令和7年度から公共下水道に統合されたが、経費削減、下水道料金の増収がどのくらいあるのか

A 年間約310万円の経費削減、使用料収入は170万円の増収となる見込みである。

Q 残り4地区の公共下水道の統合計画は

A 中川地区統合後に残る処理区の統合について、田之筋地区は宇和浄化センターへの流入量の推移を見ながら、統合時期を検討する。石城、多田、明間の3地区の統合は、費用対効果が見込めないの、当面の間、現在の施設を維持管理していく。



宇和浄化センター (宇和町)

一般質問



兵頭 学

Q 西予市財政危機脱却プランの説明時、西予市のかじ取り役であるトップとしての謝罪は

A 前定例会において、財政危機の現状と要因、そして改革への決意を述べたが、市政を預かる市長として、責任の重さを痛感し、深く反省している。

Q この危機を乗り越えて持続可能な西予市を再構築すること、責任を果たす。

Q 職員給与削減を一律3%からスライド方式1〜5%に変更にした理由は

一般質問



二宮 一郎
(フォーラムせいよ)

Q ふるさと納税によるまちづくりの成功モデルである茨城県境町が取り組んでいるふるさと納税推進の取組について

A 境町が開催している「境まちづくり大学院」では、「ふるさと納税」の他、「地域公社」「まちづくり」「資金づくり」「人づくり」をテーマに、地域ビジネスプランナーとしてのノウハウを実践的に学ぶプログラムを展開している。
当市職員がノウハウを学び事業に活かしていくためにも、最も有益な研修先への参加を検討する。

A

職員組合との協議を重ねる中で、組合側より組合一律の削減は、特に、給与水準の低い若年層職員の生活への影響が大きいといった強い懸念が示された。

将来を担う若手職員への配慮は不可欠であると判断し、職責や給料表の級に応じた負担とする1〜5%の傾斜をつけた給与削減率を採用することで、生活への影響を緩和しつつ、組織全体で痛みを分かち合う形で合意に至った。

自治労連 西予市職員労働組合 情報 R E N 2025年9月		
経費削減プラン 職員給与カット5%の提案について 9/12 「職員給与削減の取組」に 関し、協定書を締結		
9/4 の団体交渉結果を踏まえ、「職員の給与カット」の部分に関して、下記のとおり当局と協定を締結しました。これまでの協議と団体交渉により、当局の当初提案より職員（組合員）の負担は軽減されました。		
	当局当初提案	協議・団体交渉による成果
カットの対象	全職員	全職員
カット率	正職員 一律3% 会計年度任用職員 1%	ただし、来年度以降の初任給は免除 職員の級によりカット率に傾斜 1・2級-1%、3級-2%、4級-3% 会計年度任用職員は免除
実施期間	3年間	2年間

職員組合情報 R E N (一部抜粋)

A Q

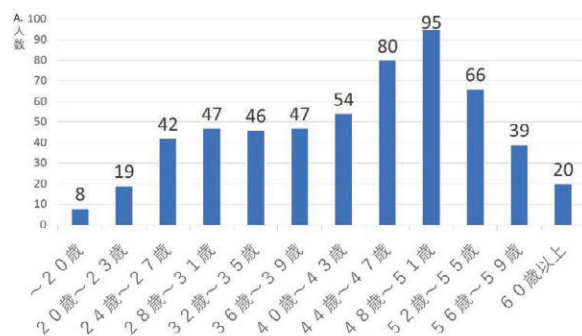
物価高騰対策重点支援交付金の活用について

物価高騰対策重点支援交付金2兆円を含む、補正予算が今国会に上程をされている。成立後、年内に交付限度額が通知をされる見込みで、昨年度の3倍が想定される。今後、事業要望の取りまとめ、特に、食料品高騰への特別枠を活用して、プレミアム商品券を軸に、市民、事業者への迅速な支援を検討している。

A Q

Q 職員の区分は公務員法に基づく、特別職と一般職に区別され、特別職は市長、副市長、教育長、市議会議員などが該当する。任期の定めない常勤職員と一年以内で任用される会計年度任用職員、その他の職員がある。

Q 職員の人数は
令和7年4月1日現在、常勤職員は563名、会計年度任用職員379名、フルタイム58名、その他職員9名である。



Q 西予市常勤職員の年齢階層は？



境まちづくり大学院 (茨城県境町)

一般質問



まつもと みき
(インクルせいよ)

Q

西予市財政危機脱却プランには「第2次総合計画に基づき、持続可能なまちづくりに取り組んできました」と書かれているが、このような事態に至ったのは計画が悪かったのか、計画は悪くなかったがやれてこなかったのか

A

計画自体は優れていると認識しているが、様々な要因が重なり達成できなかった。

Q

プランの進捗管理について、これまでの反省をふまえて市民や外部組織の力を借りて協働で管理する新しい体制を一緒につくる考えは

A

内部の評価機能を強化する。現時点では外部委員等のしくみづくりは計画していない。

一般質問



源 正樹

Q

小規模事業者は、雇用や技術の担い手として地域経済を支える重要な存在である。市内では、小規模事業者が多く、経営者が高齢となり後継者もいないことから廃業される例もあるが、事業承継へどのような支援制度があるのか

A

事業承継は、資産・経営資源等の重要な情報を扱うため専門的な知識が必要であり、経営改善も含めた様々な相談に対応できるよう、公益財団法人えひめ産業振興財団と連携した専門家による相談窓口を、予約制で月2回市役所内で開催している。必要に応じて愛媛県事業承継ネットワーク機関との情報共有・連携支援に努めている。

Q

西予市は近隣と比べて部長職の人数が多い。部長を減らしては

A

部長職の適正な配置、組織再編は見直し、検討を進めていく予定。

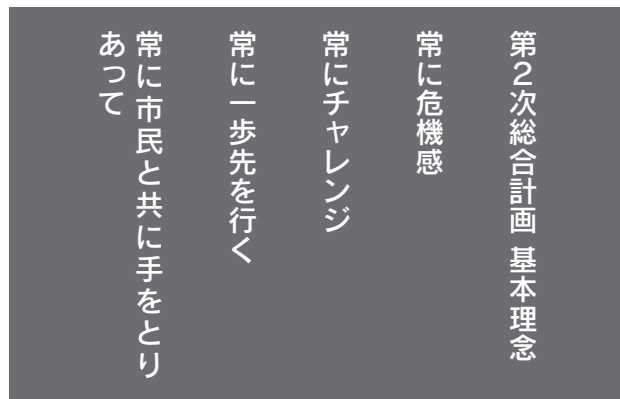
Q

(その他の質問)

●危機感が欠如していたのは市長なのか

●プランはなぜ市長任期をまたぐ立案時期になったのか

など



第2次総合計画に掲げてある基本理念

一般質問



大森 揚子
(日本共産党)

西予市民病院、野村診療所、つくし苑について

Q

看護師等について事務局の認識と現場の状況はなぜ違うのか

A

職員の業務負担の軽減や、休憩時間の確保といった労務管理上の課題は、指定管理者の責任において対応されるべきものであり、市は協定に基づき法令順守の確認を行うことになっている。

Q

野村診療所のエアコンの故障にどう対応するのか

A

大規模な修繕が必要な場合は、市の責任において予算措置を行う。現在、状況を確認し適切に対応を進めている。



明浜歴史民俗資料館

「西予市財政危機脱却プラン」について

Q

図書交流館の城川4分館、明浜分館の廃止について

A

図書館システムを撤去するが、ネットを利用して申し込み、センター職員と図書館職員間のネットワークを構築し、分館のあったセンターまで本を届けることで、本の貸し借りには支障が生じないようにする。

Q

明浜歴史民俗資料館の縮小について

A

平日同様、土日祝も、事前予約制とする。

西予市決算審査特別委員会より 市長へ提言書を提出

提言の主な内容

●職員採用試験事業

◆社会人枠の拡充を

◆地元高校への積極的PRと近隣の技術系高校へのリクルート活動推進を

●移住交流促進事業

◆民間だからできる活力を最大限に活かした自主的な取り組みに向け強力な後押しを

●子ども医療費助成事業

子育て応援事業

結婚新生活支援事業

母子保健事業

愛顔の子育て応援事業

◆子育て支援に関する助成は、全国一律となるよう、県を通じて国に強く働きかけを

●敬老会活動支援事業

老人クラブ等活動支援事業

◆すべての高齢者が健康で生きがいを持ち、地域社会の主役として輝き続け、市民一同が胸を張れるまちづくりへの取り組みを

●市観光PR事業

ふるさと納税推進事業

◆「セイ、いっぱい！西予市」のキャッチコピーを広げ、経費と成果のバランスを見極めて活用し、市の認知度向上を

●有害鳥獣捕獲対策事業

◆被害が深刻化しており、捕獲隊員増加やジビエの有効利用促進を
◆国や県に財政支援を強く要望を



H16 創刊号



H17 第5号



H18 第9号



H19 第13号



H20 第17号



H21 第21号



H22 第25号



H23 第29号



H24 第33号



H25 第37号



H26 第41号



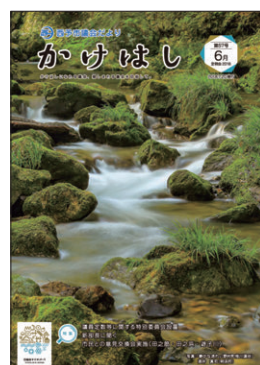
H27 第45号



H28 第49号



H29 第53号



H30 第57号



R1 第61号



R2 第65号



R3 第69号



R4 第73号



R5 第77号

西予市議会だより 発行の変更について

平成16年7月28日
発行の創刊号から、
今87号まで全国的に
珍しく議員と議会事
務局が協力し、市議
会独自の媒体を発行
して参りました。次
号、令和8年第1回
定例会より、広報せ
いよの中で議会だよ
りを掲載することと
なりました。今後も
新たな媒体を通じて
市民の皆様には議会に
関する情報をお届け
してまいります。
これまでご愛読い
ただき、誠にありがと
うございます。心よ
り感謝申し上げます。

西予市議会だより
編集委員会委員長

源 正樹